

授業科目	臨床実習 1	1 学年・後期・1 単位 (45 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	小塚直樹 (保健医療学研究棟 E415 号) e-mail : kozuka@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	田代英之		
概要	理学療法の実務的な視点で初めて病院・施設、あるいは患者に接する機会であり、理学療法概論に引き続き早期体験としての意義を持っている。臨床実習指導者をはじめ関係スタッフとの関わりの中で、理学療法士の業務や活動分野についての初歩的な理解を得ることを主眼にしている。さらに患者を通して障害及び障害者の理解を深め、リハビリテーションおよび理学療法が臨床上に果たす役割を認識することを目的とする。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リハビリテーション関連分野の全体像を理解する。</li> <li>2. 病院・施設の機能と地域社会における役割を知る。</li> <li>3. 理学療法士の役割とチームワークの重要性を学ぶ。</li> <li>4. 患者および障害の実像を知る。</li> <li>5. 理学療法士としての基本的な心構えを理解する。</li> </ol>		
評価	臨床実習指導者による評価、実習サマリーとレポート、実習報告会の内容により評価する(評価にはルーブリックを用いる)。		
履修上の留意点	理学療法概論を履修し、合格していること。		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1 施設につき、1～3 人で実習を行う</li> <li>2. 臨床実習施設にて実習指導者のもと、以下の課題に取り組む</li> <li>3. 学生が行う課題 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病院・施設の機能、リハビリテーション部門、理学療法部門の役割</li> <li>2) 患者との接し方、理学療法士としての基本的な心構え、他職種との関わり方の観察</li> <li>3) 患者および障害の状態の観察</li> <li>4) 実習ノート及びレポートの作成・提出</li> <li>5) 実習サマリーの作成と実習報告会での発表</li> </ol> </li> </ol>
実習期間	5 日間(2022 年度は 1 月 23 日～1 月 27 日)
実習場所	大学が指定する実習協力病院
実習時間	基本的に月曜日から金曜日までの 9:00～17:00 であるが、実習施設の就業時間およびスケジュールに従う。 上記以外の時間のケースカンファレンスや指導者による振り返り学習を含んで、1 週間あたり 45 時間を実習として行う。
実習内容	リハビリテーション関連分野の理解：施設内の構造配置および業務場面の見学 病院・施設の機能と地域社会における役割の理解：施設内の見学、地域における病院・施設の役割の把握 理学療法士の役割を考える：理学療法場面での見学 チームワークについて学ぶ：他部門の見学、リハビリテーションカンファレンスの見学 患者・障害の実像の理解：理学療法場面での見学及び治療補助体験 自分の考えを整理し、報告する：実習報告会と討論、レポート提出